

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	TKOいちごアリーナ	試合No.	実践学園	13	20	11	13		57
審判	(主) 渡辺 整	(副) 山岸 大輔	仲井 順	A 2	桐 光	11	19	24	21		75

実践学園高等学校(東京)

コーチ 高瀬 俊也 A・コーチ 酒井 勇樹 マネジャー

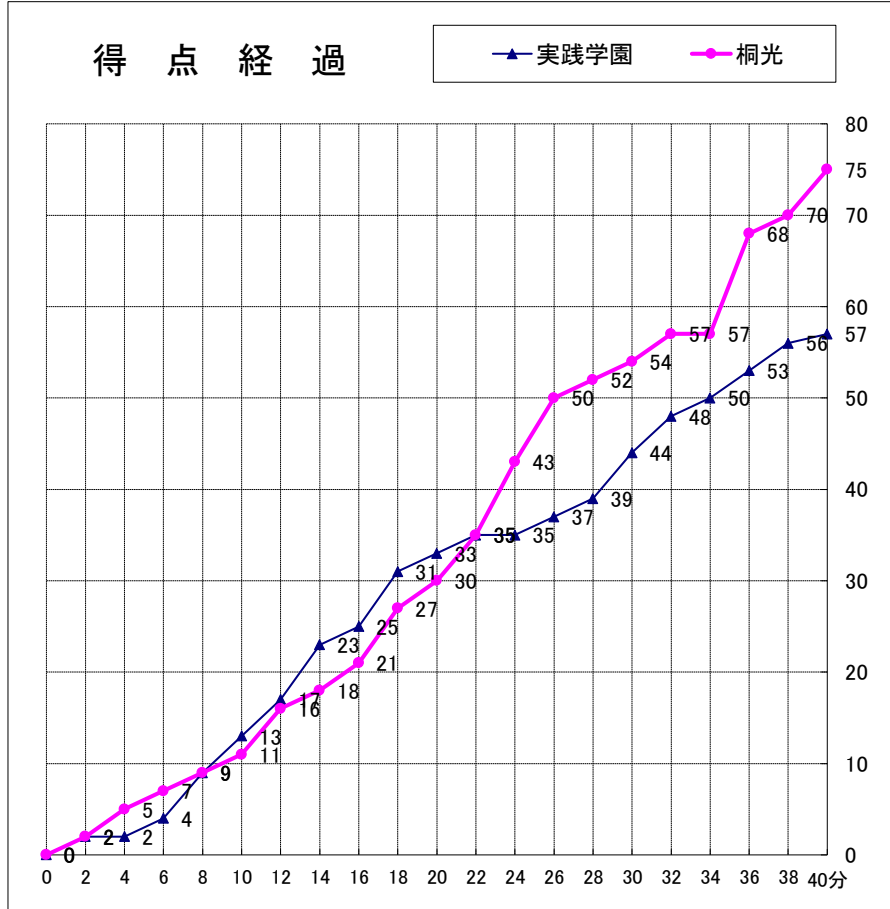
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
小玉 大智	4	19	0	2	9	21	1	2	3	2	5	7
齋藤 颯斗	5	5	0	0	2	14	1	1	3	3	5	8
豊島 隆平	6	5	1	4	1	1	0	0	0	0	3	3
横山 悠人	7	10	0	2	4	13	2	3	5	4	4	8
小松 篤	8											
オワロニ一龍	9											
星野 圭亮	10											
堀内 海利	11											
井川 広登	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
小野寺恒洋	13	1	0	3	0	4	1	2	2	3	4	7
海貝 太一	14											
山口浩太郎	15	17	1	2	7	11	0	1	4	1	2	3
五島 大成	16											
柳澤 空	17											
近野 光希	18											
チーム									0	2	6	8
合計		57	2	13	23	64	5	9	17	15	30	45
成功率			15.4%		35.9%		55.6%					

桐光学園高等学校(神奈川)

コーチ 高橋 正幸 A・コーチ 林 大空 マネジャー 鈴木 隆一

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
鈴木 悠斗	4	8	1	3	2	10	1	4	1	6	5	11
関根 隆慈	5	17	3	9	4	6	0	0	2	1	1	2
大竹 峻叶	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木 響希	7	9	1	3	3	11	0	0	1	1	5	6
吉田 敬陽	8	4	0	1	1	4	2	2	0	5	3	8
川戸 渚	9	9	2	8	0	3	3	3	3	1	8	9
橋本 恭典	10	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
長谷川 丈	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夏山 和己	12	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
萩原 康平	13	4	0	0	0	3	4	6	3	1	1	2
柏 秦太	14	9	0	1	3	5	3	4	1	0	3	3
齋 龍海	15	10	0	1	5	10	0	0	1	2	2	4
川上 裕樹	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍵谷 和輝	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
佐藤 怜	18	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
チーム									0	1	2	3
合計		75	7	26	20	55	14	21	13	19	31	50
成功率			26.9%		36.4%		66.7%					

得点経過



戦評

実践学園と桐光学園の一戦。両チームともにハーフアウトマンツースで構えるかたちで試合が始まった。1対1のミドルシュートで得点を重ねる実践学園と、#5関根を中心に中外バランス良く得点を重ねる桐光学園。両チームともに固いディフェンスを見せ、13対11実践学園リードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド、実践学園#4小玉のミドルシュートが高確率で決まる。高さに劣る実践学園だが、細やかなフットワークを駆使して高さに対抗し、速い展開でゴールに迫った。桐光学園は#5関根のドライブや3P、#15齋の高さを生かしたプレーで得点を稼いだ。お互い一步も引かないプレーを見せ、33対30で実践学園が僅かなリードを得て、前半を終えた。第3ピリオド開始2分、桐光学園#4鈴木の3Pとゴール下の連続得点を皮切りに、#9川戸、#7鈴木響の3Pで一気に点差をつける。実践学園はタイムアウトで流れを渡さんとして#4小玉が奮闘するも、桐光学園#9川戸の3P、#7鈴木響のスティールで試合は完全に桐光学園ペースに。実践学園のシュートがなかなかゴールを通らない苦しい時間が続いた。残り2分、実践学園#7横山が気迫でゴールに迫り、連続得点をあげてチームを鼓舞するが、54対44の桐光学園10点リードで最終ピリオドを迎えることになった。何とか追いつきたい実践学園、#15山口、#4小玉が果敢にゴールを狙って再起を図るが、桐光学園のリズムが崩れない。途中出場の#14柏がディフェンスで頑張ってスティールを生み、実践学園の追撃を封じる。実践学園は#6豊島の3Pが決まるが、最後は75対57で桐光学園が勝利し、2回戦に駒を進めた。最後まであきらめずにボールに飛びつき、全カプレーが光っていた実践学園のファイトも称えたい。

記入者 小山 幸宏